

おぎはら隆宏

おまかせ！おぎはら！！お役に立ちます。



Times

http://www.ogiogi.jp/
E-mail office@ogiogi.jp

ごあいさつ

早いもので市議会副議長に就任してから半年が経過いたしました。この期間に痛切に感じたことのひとつが、まさに地方議会が危機的状況にあるということです。もちろん甲府市議会ということではなく全国的な地方議会の話です。事実、住民の皆さんからは「議会は一体何をやっているのか分からない。議員は本当に仕事をしているのか？」といった疑問の声が多く寄せられますし、識者からも「地方議会は本来の機能を果たしていない」という厳しい指摘を受けております。地方議会以上に国会がまともに機能していないのではないかととも思うのですが、今が我々地方議会人にとっての正念場であることは間違いありません。解決策はただ一点、住民の皆さんと議会活動をより密接に繋ぐことだと思います。キーワードは情報公開と住民参加ということになるでしょうか。議員一人一人は、それぞれの政治活動のなかで、地域の皆さんや後援者と積極的な交流を図り、ホームページや機関誌等を通じての情報発信を行っています。今後は議会そのものが住民と結びつくことが求められています。そのための制度改革も必要になってくるでしょう。実際、全国の多くの地方議会で「議会基本条例」を制定し、議会の役割を明確にするとともに、住民の皆さんとの連携を積極的に進めていく試みが始まっております。県内においても先頃昭和町議会で同様の条例が成立していますが、私も個人的には甲府市議会においても議会基本条例についての研究を始めるべきと考えています。

議会改革の必要性が高まる中で、全国の地方議員が奮起し始めています。私もこれまで何度となく議会改革を始めとして様々な政策課題をテーマとした研修会に参加したことがあります。こうした議員向けの研修会には

確かな未来を創るために来年も頑張ります！



常に希望者が殺到し、抽選で参加者を決定する事もしばしばです。多くの議員が自治体の政策について意欲的な取り組みをしていることや、議会改革の必要性和分権社会における地方議会の役割について十分な認識を持っている証拠ではないかと思えます。是非、今後の議会に期待してください。私も皆様の御期待に沿うべく全力を尽くす覚悟です。

2010年 9月・12月議会報告

8月31日から9月22日にかけて9月定例会が開催されました。9月議会は決算審査特別委員会が入るので、期間が少し長くなります。副議長に就任して初めて臨んだ定例会でしたが、本会議でも議長席に座り議事の進行をさせていただきました。

12月定例会(11月29日～12月9日)では、13億7千万円余(一般会計・事業費)の補正予算案が提出されました。このなかで突出しているのが約7億5千万円を計上した生活保護(扶助)費です。昨年と比べて(10月末時点)生活保護受給世帯数が17.3%の増となっていることが要因ですが、不況による失業等で困窮する世帯が大幅に増えていることを裏付けています。成長戦略を一刻も早く軌道に乗せて「強い経済」を実現する事、待った無しの状況です。



2010年活動報告 (10月・11月)



経済建設委員会の行政視察に行っていました (10月13日～15日)

姫路市、鳥取市、尼崎市を3日間の行程で訪問し、視察してきました。限られた紙面なので要点のみ列挙します。

姫路市

ひめじ城下町再生プランについて

平成19年3月に標記のプランを策定し歴史的町並み形成に取り組み、町家などの伝統的な建築物の保全・活用を図っています。



実際に町家の中を見学させていただきましたが、漆喰塗りや虫籠窓などの様式美はもとより、地域の伝統や生活文化を今に伝える大変貴重な資産であることを実感しました。



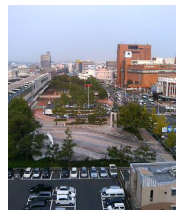
城下町が再生されることで、世界文化遺産である姫路城と一体となって、観光振興や地域活性化に結びつくことが期待されます。

鳥取市

中心市街地活性化基本計画について

中心市街地の活性化は全国の地方都市共通の課題です。各種イベント支援や空き店舗対策、創業者育成のためのチャレンジショップ事業などの取り組みについて話を伺いました。

中心街には「くる梨」という100円均一運賃で乗れる循環バスが走っています。2コースに分かれていて、毎日62便、15～20分間隔で運行され、年間30万人程度が利用しているとのこと。鳥取市の人口が甲府市と同規模であることを考えると、この数字は相当健闘していると言ってよいでしょう。甲府市も公共交通の整備は待ったなしの状況です。市域全体の交通網整備はもとより、中心部へのアクセスをよくすることで活性化に繋がってほしいと思います。



尼崎市

中央から地方卸売市場への業務転換について

尼崎市においては、卸売市場の取り扱い数量の減少など様々な状況を踏まえ、平成19年に中央から地方卸売市場への転換を行いました。担当の場長や係長さんからは、転換によるネームバリューの低下・イメージダウンと、それに伴う集荷能力の低下が懸念される点や、事務の簡素化が図られたことなどのメリットについて御説明いただきました。活性化に向けては、観光客誘致による観光市場化(尼崎市は観光地ではないので難しいとも述べていましたが)、営業力の強化、食の安全・安心への取り組みがポイントである旨のお話をいただきました。

来年4月の地方卸売市場への転換に向けて準備を進めている甲府市にとって、大変参考になる内容でした。



ふるさと再発見! 「歩き・見・学ぶ」ふるさとウォークに参加しました (10月23日)



私が住まわらせていただいている大国地区の育成会主催事業です。「大人も子供も一緒になって、秋の大国地区を散策し、地域の自然、文化や歴史にふれ、ふるさとの良さや素晴らしさを発見しよう!!」というテーマで半日ほど地域を散策しました。大国小学校をスタートし、雪窓院、上条中学、三宝大荒神社、道祖神、福泉寺大里東公園、勝善寺などを巡りました。甲府市文化振興指導員の林陽一郎先生にご同伴いただき、文化財関係の説明を受けましたが、改めて地域の歴史の重層性を認識しました。

こうした事業が多く地域で実践されることで、大人はもとより、子供達が歴史や文化に触れ、地域の良さを実感し、ふるさと甲府市に誇りを持ってもらうことができれば素晴らしいと思います。当日は秋の晴天に恵まれ、上着がいらないくらいの暖かさでした。大国地区の育成会の皆様に感謝です。

新山梨県立図書館の安全祈願祭と起工式に出席させていただきました (11月10日)



紆余曲折ありましたが、新県立図書館が着工される運びとなり、起工式に伺いました。図書館本来の機能・役割は、できるだけ多くの図書・資料を収集し、レファレンスサービスを充実させることにあります。新図書館ではこうした基本的機能に加えて、人と人の交流を促す機能を重視することで、多様な出会いによる知的創造と情報発信の拠点となるように設計されています。中心市街地の一角である甲府駅北口という立地条件を生かした野心的な挑戦が始まろうとしています。なお、収蔵能力は110万冊。甲府市立図書館の蔵書数が約36万冊ですから、規模の大きさが想像できます。市立図書館としても県立図書館と連携しつつ役割分担を図りながら、お互いに発展していけるような取り組みが求められます。



愛郷無限

今年一年の甲府市を振り返りますと、学院大学付属高校の全国高校サッカー選手権大会優勝に始まり、B-1グランプリでは「甲府鳥もつ煮」が優勝、ヴァンフォーレ甲府はJ1昇格を決めました。こうした明るい話題が多かった一方で、長引く不況による生活困窮者の増加や、天候不順による農作物への被害(米の品質低下、ぶどうのべと病)など深刻な課題に直面した年でもありました。市議会においても、生活保護施策の方針や被害農家の皆さんへの支援策など活発な議論が展開されました。

さて、来年は年明け早々の知事選、甲府市長選に始まり、県議選、甲府市議選などの統一自治体選挙が予定されています。私も市議会議員として皆様の御期待に沿えるよう全力で取り組んでまいります。何卒御指導御鞭撻をお願いいたします。

例年以上に寒い冬になるようです。新型を含めインフルエンザの流行も懸念されます。皆様には御自愛の上、よいお年をお迎えください。

おぎほら隆宏

